

G.C.I

ニュース

岐阜県セラミックス研究所

TEL:0572-22-5381 FAX:0572-25-1163

情報 No.26



## 新任のごあいさつ

岐阜県セラミックス研究所  
所長 山下典男

このたび4月1日付けの人事異動により、産業労働部産業政策課から岐阜県セラミックス研究所の所長に就任しました。日頃より、皆様には当所の業務にご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。所長就任に際し、一言ごあいさつさせていただきます。

岐阜県では、平成8年度策定の「岐阜県科学技術基本戦略」に掲げられた「研究開発立県の形成」を目標において、第1期(平成9～13年度)では、県試験研究機関の再編やインフラ整備を行い、第2期(平成14～18年度)では、地域新生コンソーシアム研究開発事業(経済産業省事業)など産学官によるネットワーク連携型研究体制の推進や、重点研究課題の設置、技術移転プランナー制度の創出など研究開発の重点化・実用化に取り組んできました。第3期(平成19～23年度)では、平成19年3月に「ぎふ科学技術振興プラン」を策定し、基本目標を「県民生活の向上に貢献する科学技術の振興」(県民に役立つ科学技術の振興)と設定し、目標達成のため、3つの基本方向「次世代産業の育成と地域産業の活性化(ものづくり)」「活力とゆとりのある質の高い県民生活の実現(地域づくり)」「科学技術の担い手の育成(人づくり)」に関連した施策を展開しています。

セラミックス研究所では、県の組織再編により、平成11年に「陶磁器試験場」から「セラミックス技術研究所」へ、平成18年には現在の「セラミックス研究所」へと名称変更しておりますが、一貫して陶磁器関連を主とする試験研究機関として研究開発事業、技術支援事業を行ってきました。

最近の研究開発事業では、平成13～15年度に、産学官連携研究開発事業として、地域新生コンソーシアム研究開発事業「環境負荷低減型短時間・均質加熱プロセスの開発」において、従来のセラミックス焼成方法とは異なる新たな「マイクロ波焼成」の研究開発を実施してきました。平成17～19年度には、都市エリア産学官連携促進事業(文部科学省事業)「陶磁器の次世代製造技術開発」において、無機ナノ顔料粒子を用いたインクジェット加飾による多品種少量生産・高付加価値な陶磁器製品の開発を実施しています。

研究開発の成果は、特許など成果の権利化を行い、技術移転プランナー等を活用して、県内企業への技術移転に努めています。

技術支援事業では、技術相談、依頼試験を中心に、受託研究や研修生受け入れ事業、研究会の開催等を行ってきました。技術相談と依頼件数は合わせて約3,600件/年のご利用をいただいています。

本年度も、「ぎふ科学技術振興プラン」に基づき、「研究開発・技術支援による産業振興・地域振興」を基本目標に、様々な出口を見据えた役に立つ研究開発、質の高い技術支援とともに、研究成果の移転を積極的に行ってまいります。

セラミックス研究所が、今まで以上に開かれた研究所として、企業の皆様、県民の皆様の期待に応えられるよう、職員が一丸となって努力してまいります。今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 19年度研究所の業務概要

セラミックス研究所では、岐阜県が平成19年3月に策定した「ぎふ科学技術振興プラン」に基づき、下記の基本方針を策定して研究および技術支援事業を行います。

基本目標	研究開発・技術支援による産業振興と地域振興
基本方向	新分野の開拓や現場が抱える課題解決のための研究開発と質の高い技術支援
課題設定	新産業育成 既存製品の高付加価値化 新技術導入による技術高度化

### 研究課題

#### 新産業育成

- ・酸化亜鉛系薄膜の新規作成技術の開発 (H.18～20)
- ・マイクロ波による機能性セラミックス焼成技術の開発 (H.19～21)

#### 既存製品の高付加価値化

- ・セラミックス製品のライフサイクル・デザイン(LCD)研究 (H.18～19)
- ・「新虹彩釉」の高度化と製品開発研究 (H.18～20)
- ・使い勝手のよい陶磁器製品の開発 (H.19～21)
- ・21世紀東濃地域ブランド商品の開発 (H.18～20)

#### 新技術導入による技術高度化

- ・筆加飾ロボットの高機能化研究 (H.17～19)
  - ・無機ナノ顔料粒子の作製・活用技術の開発 (H.17～19)\*
  - ・飲食器加飾用インクジェットノズルの開発 (H.18～20)
  - ・疑似 Web3D による陶磁器製品意匠評価システムの開発 (H.18～19)
  - ・シュミレーションによる給食用強化磁器食器の軽量化研究 (H.18～19)
- \* 都市エリア産学官連携促進事業 (一般型) (H.17～19)

課題名：陶磁器の次世代製造技術開発

連携機関：名古屋工業大学、多治見市陶磁器意匠研究所、土岐市立陶磁器試験場  
瑞浪市窯業技術研究所、民間企業

### 技術支援 (正確・的確・迅速・親切をモットーとしています)

[技術相談]：基礎的なことから専門的なことまで、気軽にお尋ね下さい。

[依頼試験]：原料の分析や製品の評価など、種々の項目(窯業試験・一般理化学試験)について試験をお受けしています。

[受託研究]：民間企業等では解決が困難な研究課題を受託して研究を行います。

[その他]：巡回技術指導、緊急課題技術支援、技術研修・講習会の開催、各種研究会の支援、研修生の受入れ等を行っています。

### お知らせ

平成18年度研究開発成果発表会を下記のとおり開催します。多数ご来所ください。

日時 平成19年7月24日(火) 13:30～15:30

場所 岐阜県セラミックス研究所 講堂

お問い合わせは、セラミックス研究所 研究成果発表担当 岩田(芳)まで

岐阜県セラミックス研究所情報紙 G.C.I ニュースNo. 26

発行：岐阜県セラミックス研究所 〒507-0811多治見市星ヶ台3-11

電話 0572-22-5381 ファクシミリ 0572-25-1163

電子メール info@ceram.rd.pref.gifu.jp <http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/ceram/>